



## サッカーで眼球運動前後での視覚認知の恒常性を維持する神経メカニズム

北海道大学医学研究科医学教育推進センター

稲場 直子



(第6回 入澤彩記念女性生理学者奨励賞(入澤彩賞)受賞)

このたびは、第6回入澤彩賞をいただきまして、誠にありがとうございます。これもひとえに、京都大学医学研究科 認知行動脳科学分野 教授・河野憲二先生をはじめ、ご指導いただいた先生方、共同研究者の皆様の長年にわたる温かいご支援、ご助力の賜物と、心から感謝申し上げます。

私は「眼球運動中の空間視覚の恒常性」に興味を持ち、学位取得後からこれまで、京都大学・河野憲二先生の下、マカクサル後頭・頭頂連合野の一部であるMT野およびMST野の視覚ニューロンの活動について研究を行ってきました。大学院では、筑波大学基礎医学系生理グループの吉田薫先生、岩本義輝先生にご指導いただき、サッカーで眼球運動と小脳運動学習に関する研究を行いました。筑波大生理グループの先生方は非常に学生思いで、研究はもちろんそれ以外の面でも「教育」というものをとても大事にされていました。四季折々の宴会は、各研究室の枠を超えて先生方と親しくお話しをする良い機会となりました。特に先生方の学生時代のお話はとても興味深く、機器類や解析ツールなどの面で現在がいかに恵まれているかを思わされたり、徹夜の実験が多い中、無我夢中で研究に没頭する若かりし日の姿が眼に浮かぶようであったり、私にとって大変楽しい思い出のひとつです。この春、同グループの元教授で、筑波大学副学長・茨城県立医療大学長を務められた工藤典雄先生のご訃報に接し、心から哀悼の意を表します。謹んでご冥福をお祈りいたしますと

ともに、先生に教えていただいたことを、後に続く方々に引き継いで参りたいと切に思います。

昨年10月より、北海道大学医学教育推進センター・教育助教として着任し、医学研究科神経生理学分野・田中真樹教授の下、新たな気持ちで今後進めていくべき研究の方向性を探っています。これまで、私に惜しめないご指導と励ましを与えてくださった皆様へのご恩返しとなるような成果を上げることができるよう、より一層研鑽を積んでまいりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 略歴

- 2005年 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。博士(医学)。
- 2005～2009年 京都大学医学研究科(日本学術振興会特別研究員PD・科学技術振興助手・特定研究員)
- 2009～2011年 コロンビア大学(日本学術振興会海外特別研究員・Associate Research Scientist)
- 2011～2013年 京都大学医学研究科(特定研究員)
- 2013～2015年 京都大学学際融合教育研究推進センター(特定助教)
- 2015年～ 北海道大学医学部医学教育推進センター(教育助教)